

## 第64回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第85回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会岡山県代表決定戦

### 女子決勝

日 時	2018年8月26日(日) 13:20～		
会場名	笠岡総合体育館	( A )コート	

ELEVEN	86	}	21 — 21 27 — 17 24 — 16 14 — 17	71	就実高等学校
--------	----	---	--	----	--------

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
菅野 千尋	5	27	1	11	2	3	小坂 幸羽	4	3	1			1
丹下 真帆	6	0					山中 茜音	5	0				
大塚 千愛	7	11	2	2	1		古川 裕理	6	0				
佐藤 唯	8	0					平井 日奈子	7	0				
岡田 七海	9	3	1				岩谷 樹	8	0				
中島 陽奈	10	3	1			1	中矢 愛乃	9	2		1		
菊本 美祐貴	11	0					岡村 季保	10	19		9	1	1
篠岡 瑠美	12	6		3		1	松尾 梨央	11	9	1	3		2
犬飼 ひろ美	13	22		11		2	川崎 莉緒	12	11		5	1	3
川端 みのり	14	0				1	東 小梅	13	0				
植村 円香	15	14		7		1	島田 光理	14	24	5	4	1	2
藤原 こころ	16	0					長尾 優里依	15	3		1	1	
原 絵美	17	0					佐藤 愛莉	16	0				
下條 真奈	18	0					若狭 朱理	17	0				
							中村 優乃	18	0				
合 計		86	15	68	3	9	合 計		71	21	46	4	9

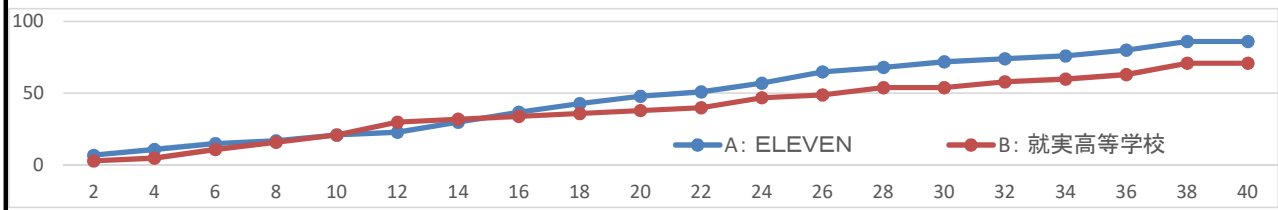
### 戦 評

1P、試合開始直後、ELEVEN#5菅野がバスケットカウントで0-3とする。一方の就実はカッティングを多用した動きのあるオフェンスを展開するが、得点に苦しむ。その間にもELEVENは#13犬飼のドライブを起点に得点を重ねる。5-13と点差が開いた開始5分、就実#14島田がドライブでバスケットカウントを決める。ELEVEN#5菅野はこのプレーでファウルが3つとなり、交代を余儀なくされる。その直後に就実#11松尾もスリーポイントを決めると、11-15と一気に追い上げの波に乗る。高さで勝るELEVENがリバウンドから#13犬飼の速攻や#15植村のゴール下に繋げるが、就実も#10岡村や#11松尾のドライブで得点を重ね、残り2分には17-18と逆転に成功。残り1分、就実#14島田がスリーポイントで19-21と引き離すが、ELEVEN#13犬飼もゴール下を決め、両者互角の21-21で1Pを終えた。

2P、立ち上がり、就実#10岡村がドライブからの苦しい体勢でのシュートをねじ込むと、就実#14島田もスリーポイントを決める。一気にペースを掴んだ就実は、開始2分で30-23と点差を7点にまで広げる。しかしELEVENも#7大塚のスリーポイントをきっかけに勢いを取り戻し、残り5分には35-32と再び逆転に成功する。就実は#9中矢、#10岡村の得点で食らいつづが、ELEVENの勢いが勝り点差は開いていく。残り10秒、ELEVEN#13犬飼のドライブからパスを受けた#10中島がスリーポイントを決め、38-48と点差をさらに広げて前半を終えた。

3P、コートに戻ったELEVEN#5菅野は、開始直後にスリーポイントを決めてさらに就実を引き離す。就実は#14島田がスリーポイントを含めた連続7得点を挙げて追い上げを図るが、ELEVEN#5菅野、#15植村の高さを活かした攻めに苦しみ、点差を縮めるまでには至らない。3P後半には就実のドライブもELEVENのディフェンスに阻まれ、得点が止まる。残り2分、就実#4小坂のスリーポイントでなんとか得点を動かし65-52とするものの、直後にELEVEN#7大塚もお返しと言わんばかりにスリーポイントを決める。3PはELEVENが終始流れを掴み、72-54と点差を大きく広げた。

4P、開始直後、ELEVEN#5菅野が鋭いドライブで、このピリオドでも最初の得点をものにする。就実は#12川崎が連続得点を決めるが、その後は全体のミスも目立ち始めて得点が伸びない。残り6分、就実は#10岡村が速攻で得点につなげて74-60とした直後、オールコートディフェンスでプレッシャーをかける。しかしELEVENは落ち着いたボール運びで動じない。最後まで粘る就実だが、ゲームをうまくコントロールしたELEVENが86-71で勝利をおさめた。



## 第64回岡山県総合バスケットボール選手権大会 兼第94回天皇杯全日本バスケットボール選手権大会岡山県代表決定戦

### 男子決勝

日 時	2018年8月26日(日) 15:00~		
会場名	笠岡総合体育館	( A )コート	
ファイサズ岡山	93	{	77
		}	ナカシマ
		{	
		}	
		{	
		}	

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
奥山 瑛介	7	0					阿部 祐也	0	8		3	2	2
辻本 雅敏	91	15		7	1	1	中島 直幸	1	2		1		
石原 健一郎	18	0					野村 悠也	3	8		4		4
田上 靖浩	9	6		3		1	末富 義隆	4	0				
橋口 和史	15	4		2		2	山口 時生	6	0				
藤高 竜一	45	8	1	2	1	1	山野 俊介	14	30	3	9	3	1
谷口 巨将	14	4		2		1	杉本 智広	15	12	1	4	1	1
木村 晋輔	13	10	2	2		1	伊藤 実希	31	7	1	2		1
中垣 俊平	10	0				1	松本 克也	41	0				
佐藤 朋信	1	17	3	4		1	秀島 嶺次	88	10		5		1
山口 透	39	0											
中西 祥一朗	6	4		2									
生田 智久	19	0				1							
岸本 祐也	35	10	1	3	1	3							
三上 祐世	25	9		3	3								
大橋 雄太	2	6		3		2							
合 計		93	21	66	6	15	合 計		77	15	56	6	10

### 戦 評

男子はここまで危なげなく勝ち上がってきたファイサズ岡山と準決勝で追撃を振り払って決勝に駒を進めたナカシマとの対戦となった。1P 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。ファイサズが#6中西のリバウンドからのシュートで先制する。対するナカシマも#14山野のフリースロー、ジャンプシュートで応戦する。ファイサズは速い展開から#1佐藤がシュートを立て続けに決め、主導権を奪う。ナカシマはガード#0阿部とインサイド#88秀島を起点に攻撃を組み立てる。残り5分、ファイサズが5点リードの場面から、ナカシマは#0阿部、#14山野らの得点で1点差に詰める。ファイサズは速いチェック、ナカシマはゾーンディフェンスを展開し、チャンスをつかいがうが、残り3分からファイサズ#45藤高、#1佐藤の連続3ポイントシュートなどが決まり、逆転を許さず、ファイサズ22-17ナカシマで1P終了。

2P ナカシマ#14山野の3ポイントシュートで始まる。その後も#14山野が得点を重ね、ファイサズを追い上げる。一方ファイサズも#35岸本の3ポイントシュートなどによる得点で、接戦となる。残り5分、ナカシマはインサイドでの連携プレーを立て続けに決め、#88秀島、#14山野が得点し、逆転に成功する。その後は一進一退の攻防となり、お互いタイムアウトを取り合うも、残り1分を切ってから、ファイサズが厳しいディフェンスから奪ったボールを#25三上、#13木村が確実に得点につなげて逆転し、ファイサズ43-38ナカシマで2P終了。

3P ナカシマ#15杉本の得点でスタート。ナカシマは序盤ゾーンディフェンスで仕掛けようとするが、ファイサズの速攻に苦しい展開に持ち込まれる。ファイサズは#91辻本のインサイドによる得点で主導権を再度奪い、リードを広げ、残り6分、ファイサズ54-42ナカシマとなったところでナカシマのタイムアウト。その直後、ファイサズは#1佐藤が連続3ポイントシュートを決め、一気にリードを広げる。しかし、ナカシマも粘りを見せ、ボールを奪うと#3野村、#31伊藤らが得点につなげ、食い下がりが、ファイサズ66-53ナカシマで3P終了。

4P ファイサズは攻撃の手を緩めず、速い展開に持ち込み、#35岸本が残り5分までで4ゴールと得点源となる。一方、ナカシマも#88秀島がインサイドで頑張るものの、単調な攻撃にとどまり、残り5分、最大21点差となってしまう。その後、ナカシマは#14山野らが少ないチャンスをものし、最後まで粘りを見せるが、ファイサズもコート、ベンチ一体となって最後まで積極的にプレーし、ファイサズ93-77ナカシマで決勝戦を制し、2年連続16回目の優勝を果たした。

